

2022年3月期 第2四半期 決算説明資料

2021年10月28日

株式会社メイテック

代表取締役社長 グループCEO

國分 秀世

1. 2022年3月期第2四半期 業績

2. 2022年3月期 業績予想

3. ご参考資料

5

- では、2022年3月期第2四半期上期の業績、
- 2022年3月期の業績予想、を説明させていただきます。
- 「ご参考資料」は、のちほどご覧ください。

1. 2022年3月期 第2四半期 業績

人と技術で次代を拓く

MEITEC
Engineering Firm at The Core

- まず、2022年3月期第2四半期の業績を説明します。

2022年3月期業績 第2四半期 グループ連結

- ✓ 前期比で売上高は8.1%増収⇒稼働人員数の増加と稼働時間の増加
- ✓ 営業利益は9.4%増益⇒売上高増収が、エンジニア社員増員に伴う労務費増加等と販管費増加等を吸収したため

(百万円未満切捨て)	2021年3月期 2Q実績	2022年3月期 2Q実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	2021年5月公表2Q 期初予想	予想比 増減額
売上高	47,091	50,915	+3,823	+8.1%	51,800	▲885
売上原価	35,307	38,074	+2,766	+7.8%	38,600	▲526
原価率	75.0%	74.8%	▲0.2%			
販売管理費	6,905	7,503	+598	+8.7%	8,000	▲497
営業利益	4,878	5,336	+458	+9.4%	5,200	+136
営業利益率	10.4%	10.5%	+0.1%		10.0%	+0.4%
経常利益	4,907	5,405	+497	+10.1%	5,200	+205
特別損益	△4	△4	—			
税引前四半期純利益	4,903	5,401	+498	+10.2%		
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,138	3,549	+410	+13.1%	3,500	+49
四半期純利益率	6.7%	7.0%	+0.3%			

7

- グループ連結の業績です。
- 2022年3月期第2四半期においては、新型コロナウイルス感染症の影響が継続し、経済活動が制限されました。そういった中で、厳しい景況と先行き不透明感の状況が続きましたが主要なお客様である大手製造業各社においては技術開発投資は持ち直しが進み、当社の受注環境にも回復の兆しが見られました。
- 結果として、売上高は、前年同期比8.1%増収の509億15百万円、営業利益は、9.4%増益の53億36百万円、四半期純利益は、13.1%増益の35億49百万円となりました。
- なお、期初予想に対して、稼働率、稼働時間は下回りましたので、売上高は予想を若干下回りました。

2022年3月期業績 第2四半期 グループ・セグメント

✓ エンジニアリングソリューション事業、エンジニア紹介事業共に前期比で増収増益

(百万円未満切捨て)	2021年3月期 2Q実績	2022年3月期 2Q実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
エンジニアリングソリューション事業 売上高	46,492	50,233	+3,741	+8.0%
構成比	98.7%	98.7%	▲0.1%	
営業利益	4,703	5,122	+419	+8.9%
エンジニア紹介事業 売上高	665	732	+67	+10.2%
構成比	1.4%	1.4%	+0.0%	
営業利益	174	214	+39	+22.5%

8

- メイテックグループ・セグメント別の業績の状況です。
- エンジニアリングソリューション事業、エンジニア紹介事業共に、前年同期比で増収増益となりました。

2022年3月期業績 第2四半期 メイテック

- ✓ 前期比で、売上高は5.7%増収、営業利益は12.4%増益、エンジニア社員数は1.5%増加
- ✓ 前期比で、稼働率は1.5%増加⇒受注が回復、4月入社の新入社員の配属が前期より改善したため

(百万円未満切捨て)	2021年3月期 2Q実績	2022年3月期 2Q実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	2021年5月公表 2Q期初予想	予想比 増減額
売上高	34,846	36,841	+1,995	+5.7%	37,400	▲559
売上原価	26,213	27,476	+1,263	+4.8%	27,900	▲424
原価率	75.2%	74.6%	▲0.6%		74.6%	▲0.0%
販売管理費	4,676	4,917	+240	+5.2%	5,200	▲283
営業利益	3,956	4,447	+490	+12.4%	4,300	+147
営業利益率	11.4%	12.1%	+0.7%		11.5%	+0.6%
経常利益	4,899	5,027	+128	+2.6%	4,800	+227
特別損益	△ 4	△ 4	—			
税引前四半期純利益	4,894	5,023	+128	+2.6%		
四半期純利益	3,429	3,470	+40	+1.2%	3,400	+70
稼働率(全体)	89.5%	91.0%	+1.5%		92.2%	▲1.2%
稼働時間(h/day)	8.17	8.36	+0.19	+2.3%	8.44	▲0.08
エンジニア社員数<名>	7,454	7,564	+110	+1.5%		

9

- メイテック単体の業績です。
- 稼働人員数の増加、稼働時間の増加などにより、売上高は、前年同期比5.7%増収の368億41百万円となりました。営業利益は、12.4%増益の44億47百万円、四半期純利益は、1.2%増益の34億70百万円となりました。
- 稼働率は、受注の回復に伴い、新入社員の配属が前期より改善いたしました。したがって、前年同期比で1.5%増加の91.0%となりました。
- なお、期初予想に対して、稼働率、稼働時間は若干下回りました。

2022年3月期業績 第2四半期 メイテックフィルダース

- ✓ 前期比で、売上高は16.7%増収、営業利益は3.9%減益、エンジニア社員数は17.3%増加
- ✓ 前期比で、稼働率は1.9%低下⇒積極採用によるエンジニア社員数の増加率に比し、配属ペースが鈍かったため

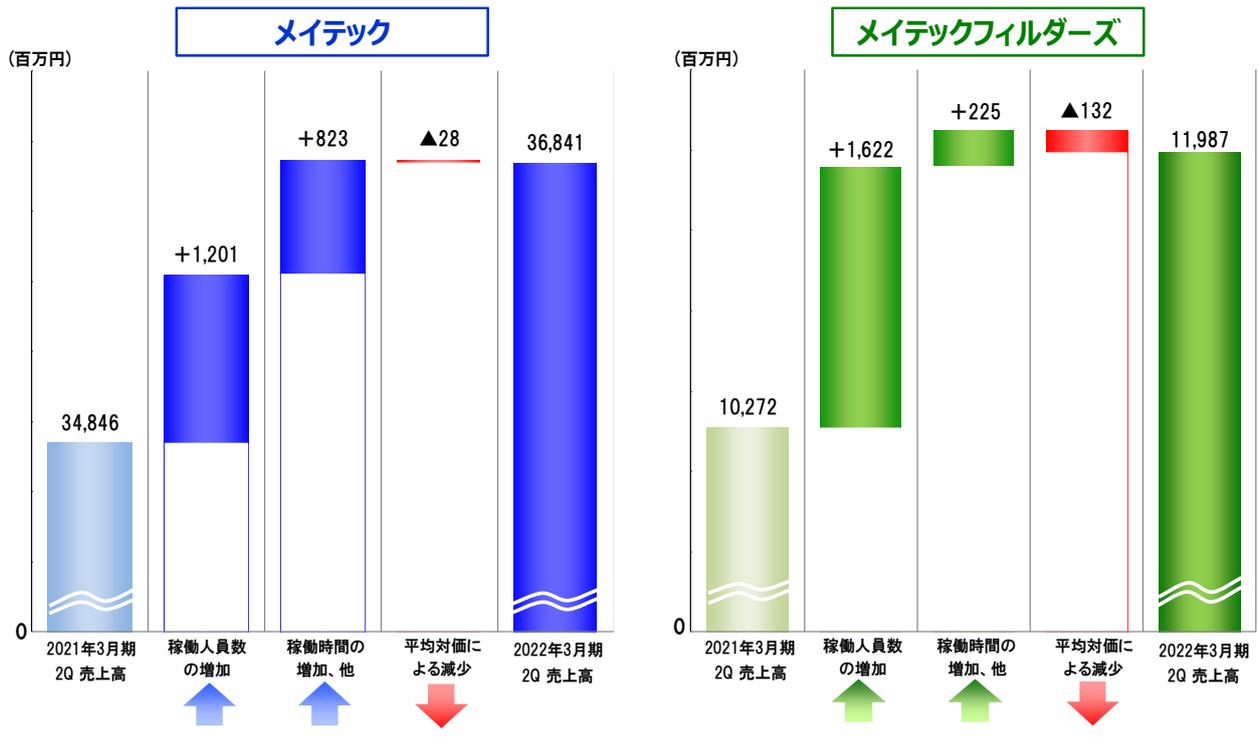
(百万円未満切捨て)	2021年3月期 2Q実績	2022年3月期 2Q実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	2021年5月公表 2Q期初予想	予想比 増減額
売上高	10,272	11,987	+1,714	+16.7%	12,100	▲113
売上原価	8,007	9,425	+1,418	+17.7%	9,500	▲75
原価率	77.9%	78.6%	+0.7%		78.5%	+0.1%
販売管理費	1,601	1,924	+322	+20.2%	2,000	▲76
営業利益	664	638	▲26	▲3.9%	600	+38
営業利益率	6.5%	5.3%	▲1.1%		5.0%	+0.4%
経常利益	663	639	▲24	▲3.6%	600	+39
特別損益	—	—	—			
税引前四半期純利益	663	639	▲24	▲3.6%		
四半期純利益	454	438	▲16	▲3.7%	400	+38
稼働率(全体)	85.8%	83.9%	▲1.9%		84.2%	▲0.3%
稼働時間<h/day>	8.16	8.34	+0.18	+2.2%	8.41	▲0.07
エンジニア社員数<名>	3,163	3,711	+548	+17.3%		

10

- メイテックフィルダースの業績です
- 積極採用によりましてエンジニア社員数17.3%の大幅増加による稼働人員数の増加、稼働時間の増加があった一方で、積極採用による販管費の増加がありましたので、売上高は、前年同期比16.7%増収の119億87百万円、営業利益は、3.9%減益の6億38百万円、四半期純利益は、3.7%減益の4億38百万円となりました。
- 稼働率は、積極採用によるエンジニア社員数の増加率に比し、エンジニア社員の配属ペースが若干鈍かったため、結果として、前年同期比▲1.9%低下の83.9%となりました。
- なお、メイテック同様、期初予想に対して、稼働率、稼働時間は下回りました。

売上高前年同期比較

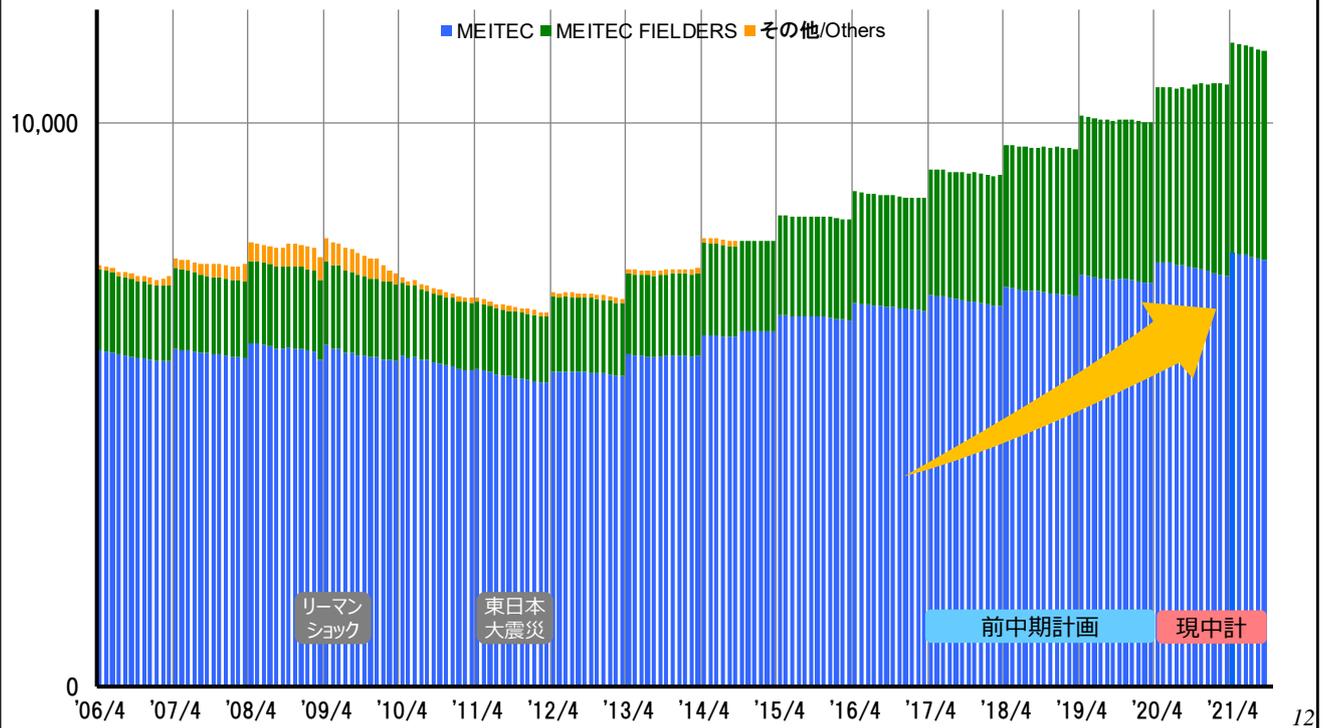
✓ メイテック、メイテックフィルダース共に「稼働人員数の増加」「稼働時間の増加」により増収



- メイテック、メイテックフィルダースの、売上高の対前年同期比増減の内訳です。
- 両社共に増収の主な要因は、「稼働人員数の増加」並びに「稼働時間の増加」です。その影響額は記載のとおりです。

エンジニア社員数 グループ連結

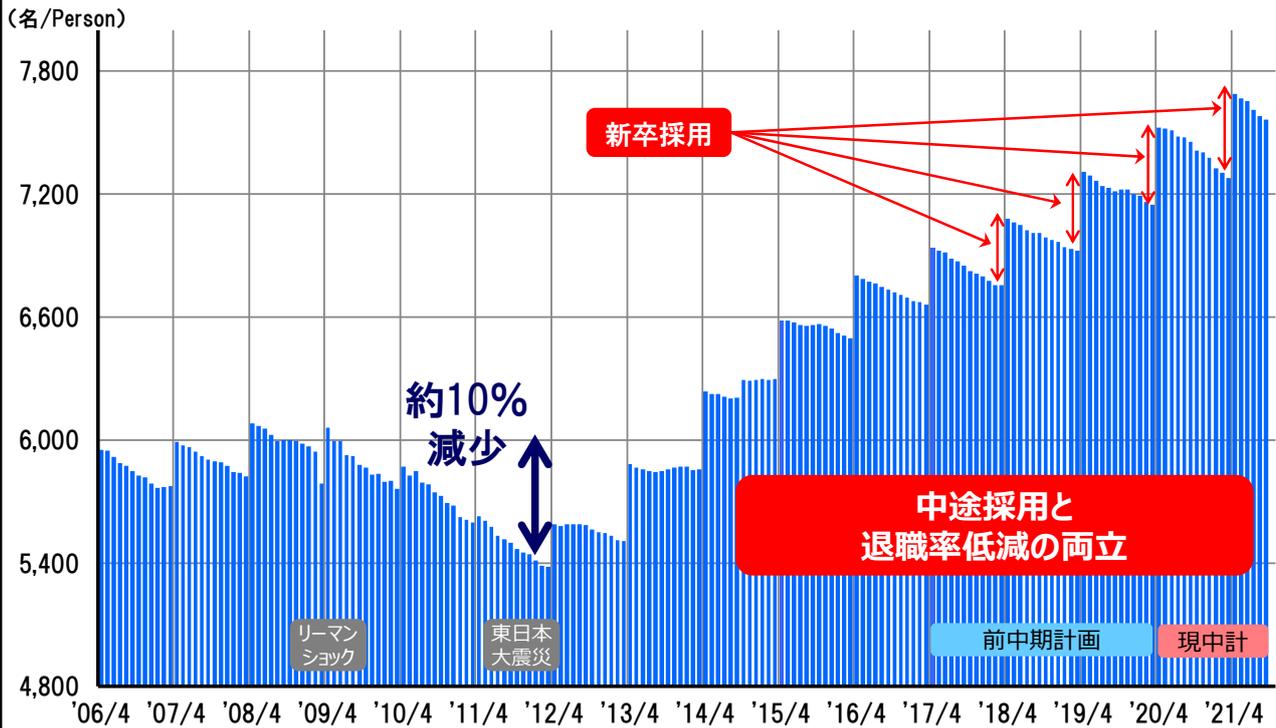
✓ 9月末のエンジニア社員数は11,275名（前年9月末比+658名、+6.2%）
(名/Person)



- グループのエンジニア社員数の推移です。
- 2021年9月末のエンジニア社員数は、10,000名を超え、前年9月末比+658名、+6.2%増の11,275名となりました。メイテック、メイテックフィルダーズ共にお客様の期待に応えられる陣容として増員できています。

エンジニア社員数 メイテック

✓ 9月末エンジニア社員数は7,564名（前年9月末比+110名、+1.5%）



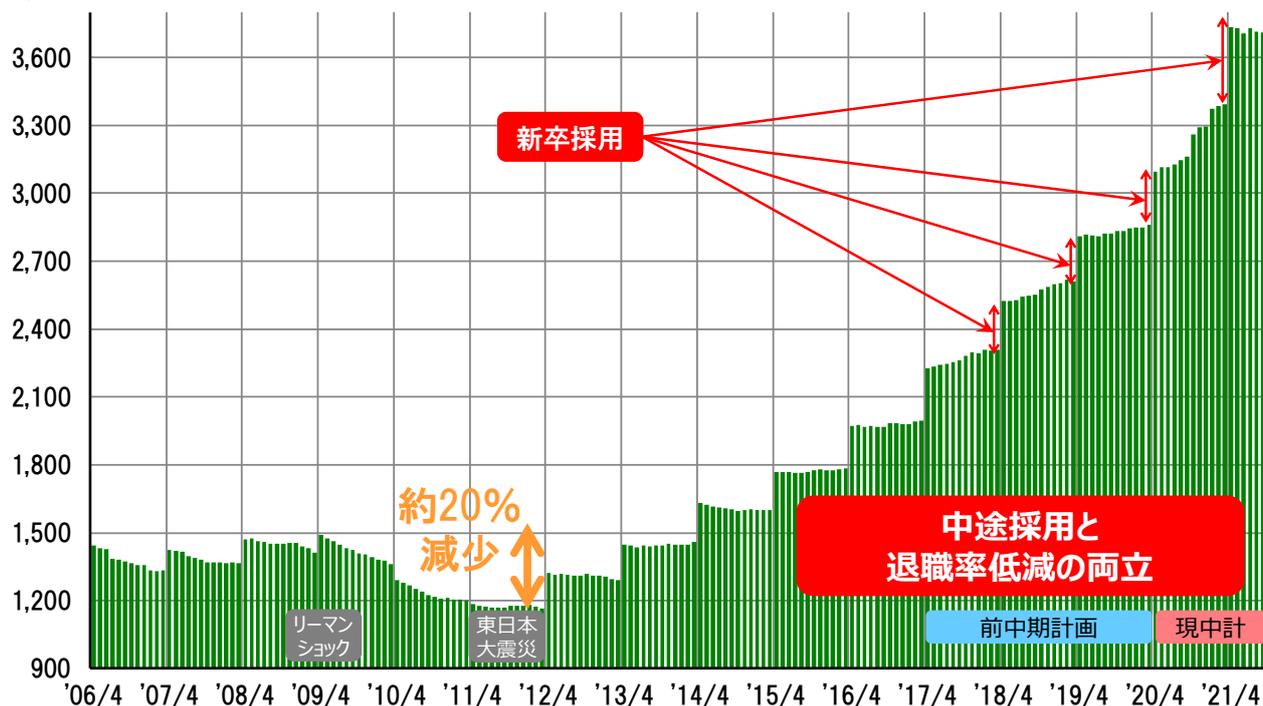
13

- 続いて、メイテック単体のエンジニア社員数の推移です。
- 2021年9月末のエンジニア社員数は、前年9月末比+110名、+1.5%増の7,564名となりました。

エンジニア社員数 メイテックフィルダース

✓ 9月末エンジニア社員数は3,711名（前年9月末比+548名、+17.3%）

(名/Person)



14

- メイテックフィルダースのエンジニア社員数の推移です。
- 2021年9月末のエンジニア社員数は、前年9月末比+548名、+17.3%増の3,711名となりました。

2022年3月期の採用状況

中途採用（2022年3月期）

- 即戦力技術者ニーズは、コロナ禍以前よりさらに過熱し、採用環境は厳しい状況が継続
- ✓ 採用基準を保持しつつ、中長期の成長、発展を見据えた積極採用を推進しているが採用環境と配属状況を踏まえ、社内目標を修正
- ✓ 採用チャネルを拡大し、「生涯プロエンジニア」の働き方、キャリアアップに対する考え方を積極的に発信し、採用数確保を目指す

新卒採用（2022年4月入社）

- コロナ禍で学生の就活手法や企業選択の多様化が進む中、企業の理系採用ニーズは更に高まり、採用競争は激化
- ✓ 10月1日時点の内定者数は、期初予想を上回ることができた
- ✓ これは、学生の安全確保を第一にしつつ、コロナ禍においても学生志向（成長意欲等）を大切に、生涯プロエンジニアとしての働き方を訴求する採用活動を実行できたことが主因

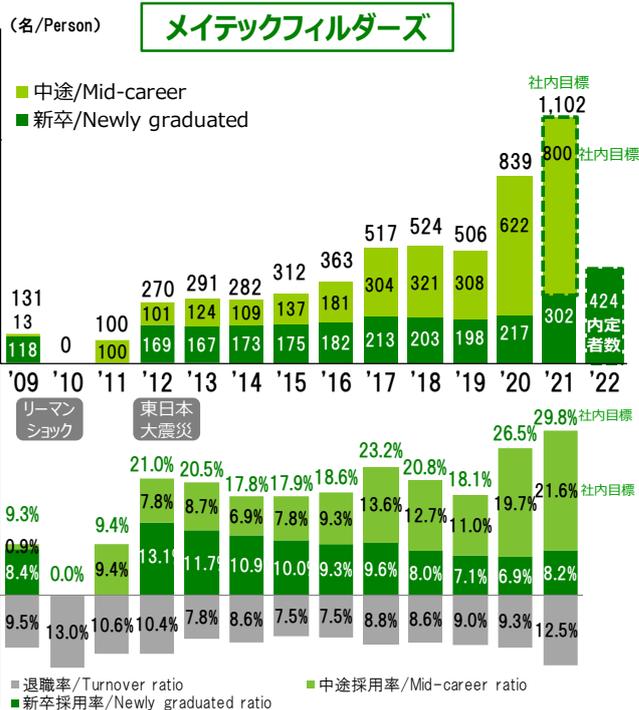
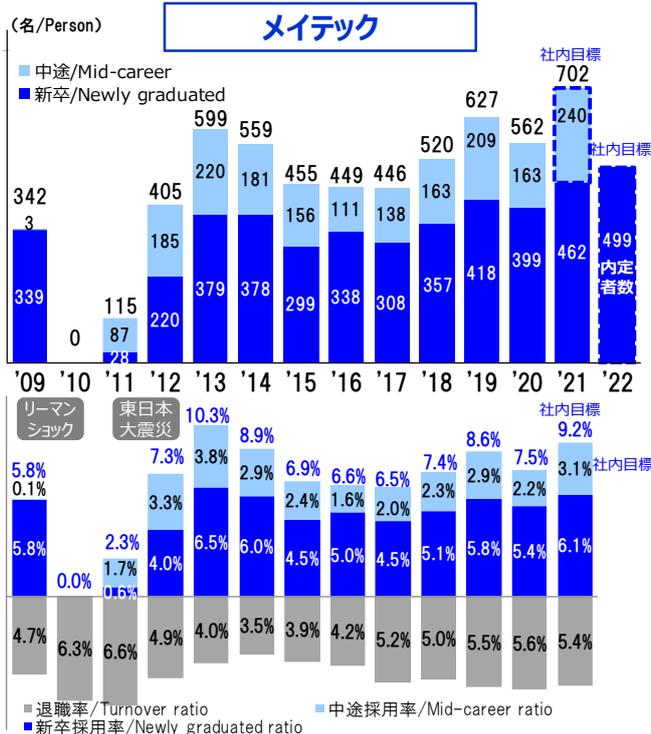
(名)	2022年3月期					2023年3月期	
	21年4月入社 新卒採用数 (実績)	中途採用数		採用数合計		22年4月入社 新卒採用数 (10月1日内定者数)	期初予想比
		<社内目標>	期初予想比	<社内目標>	期初予想比		
メイテック	462	240	—	702	—	499	+19
メイテック フィルダーズ	302	800	▲200	1,102	▲200	424	+24
合計	764	1,040	▲200	1,804	▲200	923	+43
21年3月期比	—	+255		+255			

15

- 続いて、採用の状況です。
- まず、中途採用については、いわゆるDX(デジタルトランスフォーメーション)関連の人材をはじめとする即戦力のエンジニアの求人ニーズはコロナ禍以前よりさらに過熱し、採用環境は厳しい状況が継続していますが、当社グループとしては「質を重視」し、採用基準を保持しながら、採用活動に注力しています。
- メイテックフィルダーズにおいては、中期計画3ヶ年の目標を見据えて、従来より高い水準の社内目標を掲げ、積極的に採用活動に注力しておりますが、採用環境や配属状況等を鑑み、社内目標を期初予想の1,000名から800名に修正を行いました。
- 次に、2022年4月入社の新卒採用の状況です。
- 当社グループがターゲットとしている理系学生の採用ニーズは衰えておらず、非常に苦戦を強いられましたが、採用基準を保持しつつ、オンラインによる情報配信や面接対応など、昨年の冒頭から学生の不安払拭を第一に考えた活動を行ってまいりました。その結果、10月1日の内定者数は、グループ全体で923名となりました。
- なお、この水準は、新聞報道によると、日本の全企業の、文系を含めた採用数では第4位、理工系だけでは第2位です。これからも、エンジニアという働き方を世の中に訴求しながらメイテックグループの採用ブランドを、更に強化していきたいと思っています。

採用と退職

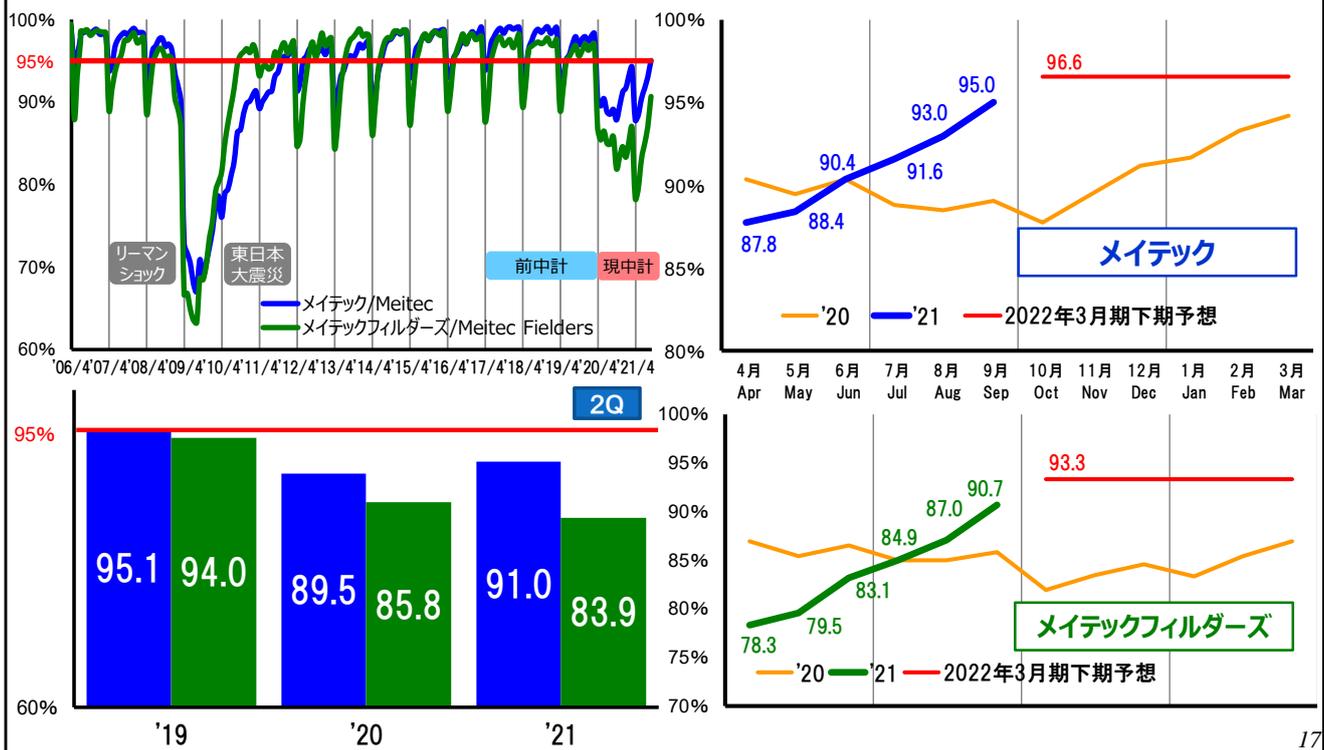
- ✓ 第2四半期決算公表時点の採用者数と退職率見込みは以下の通り
※採用率・退職率の実績は来年5月に公表予定



- 第2四半期決算公表時点の採用者数と退職率の見込みは記載の通りです。
- なお、上半期実績動向を踏まえ、退職率は、
メイテックは5.4%に、
メイテックフィルダースは、12.5%に修正しております。

稼働率

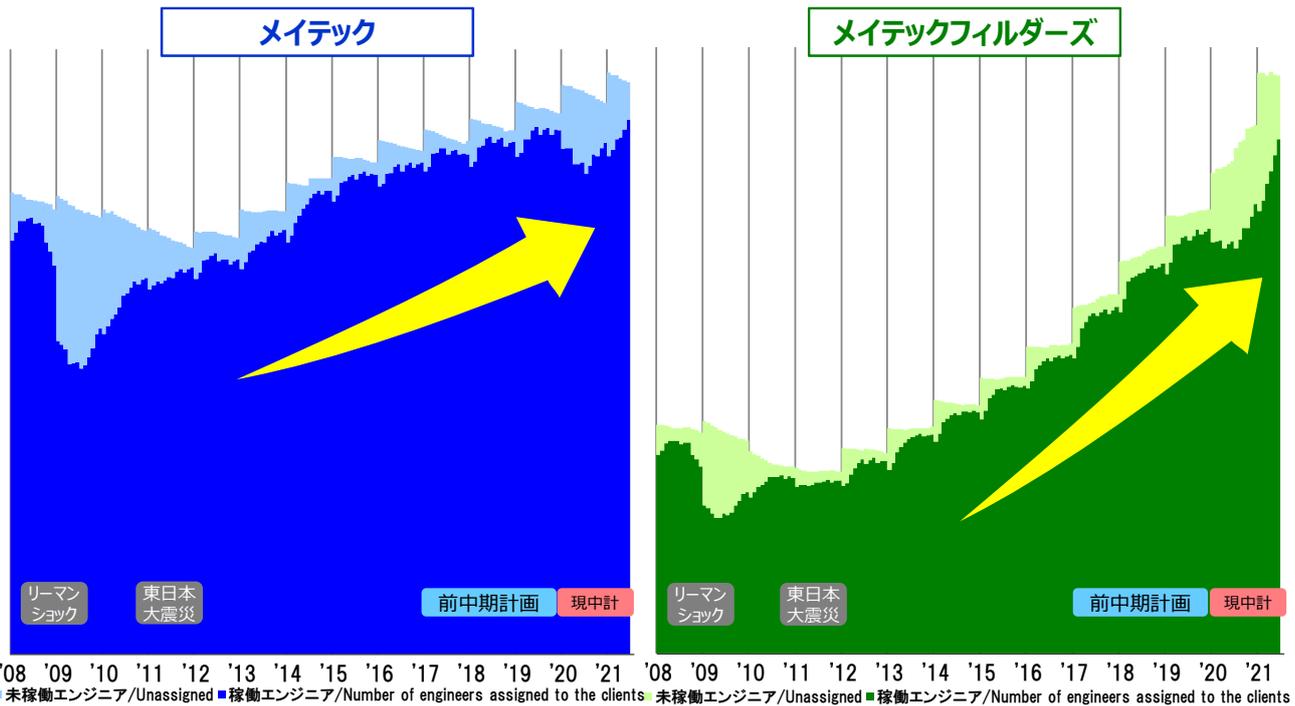
✓ 稼働率は順調に推移⇒受注に応じて、エンジニア社員の配属を進めたため



- 稼働率の状況です。
- メイテック、メイテックフィールダーズ共に、稼働率は順調に推移しました。
- 昨年の稼働率は、オレンジのグラフですが、
新型コロナウイルス感染症の
拡大防止を最優先とした研修を余儀なくされたため、
新入社員の配属が例年より大きく遅延したことに加え、
厳しい受注環境により既存のエンジニア社員の配属が遅延し、
低迷しました。
- 今上期も4月1日に新入社員が入社したことで、
稼働率は一旦低下しましたが、
受注に応じて配属を進められたため、順調に増加しました。

稼働人員数 (売上の主要素)

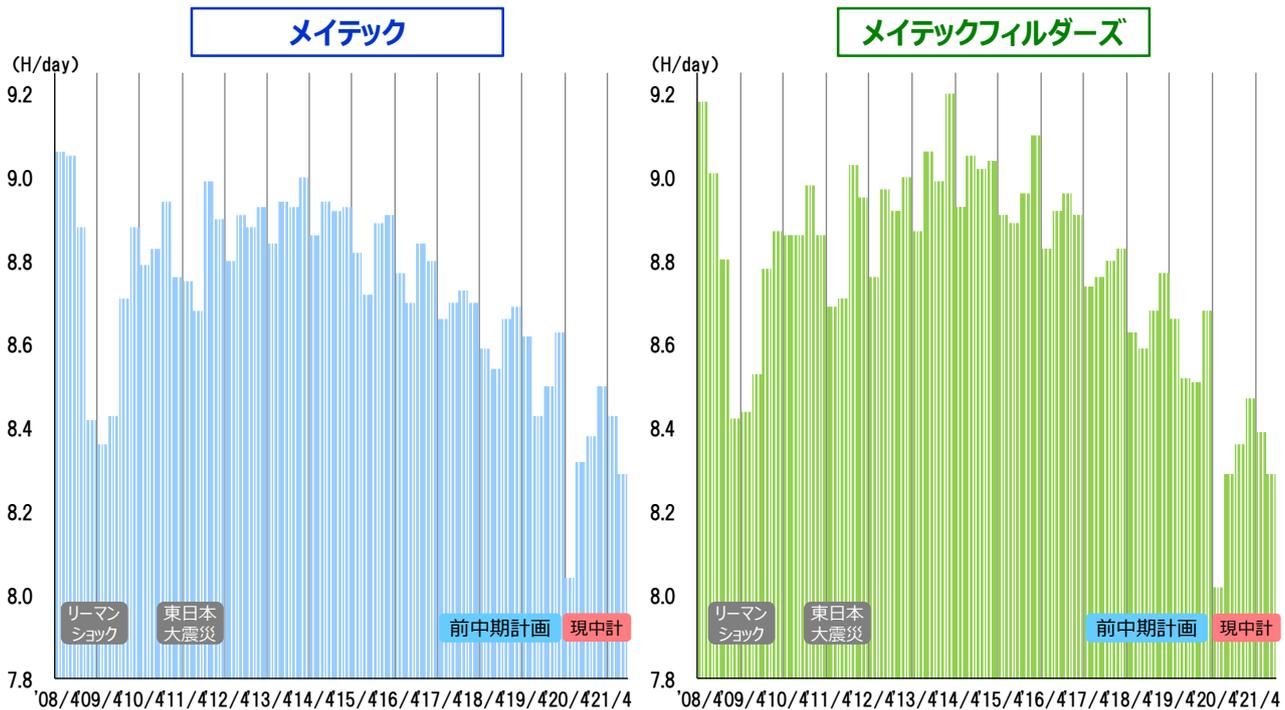
✓ 積極採用によりエンジニア社員数は増加、また、新入社員の配属を進めて稼働人員数も増加



18

- 稼働人員数の推移です。
- 積極採用により「エンジニア社員数の増加」は継続しており、受注環境もゆるやかに回復していることが確認できておりますので、稼働人員数はメイテック、メイテックフィルダーズ共に順調に伸びています。

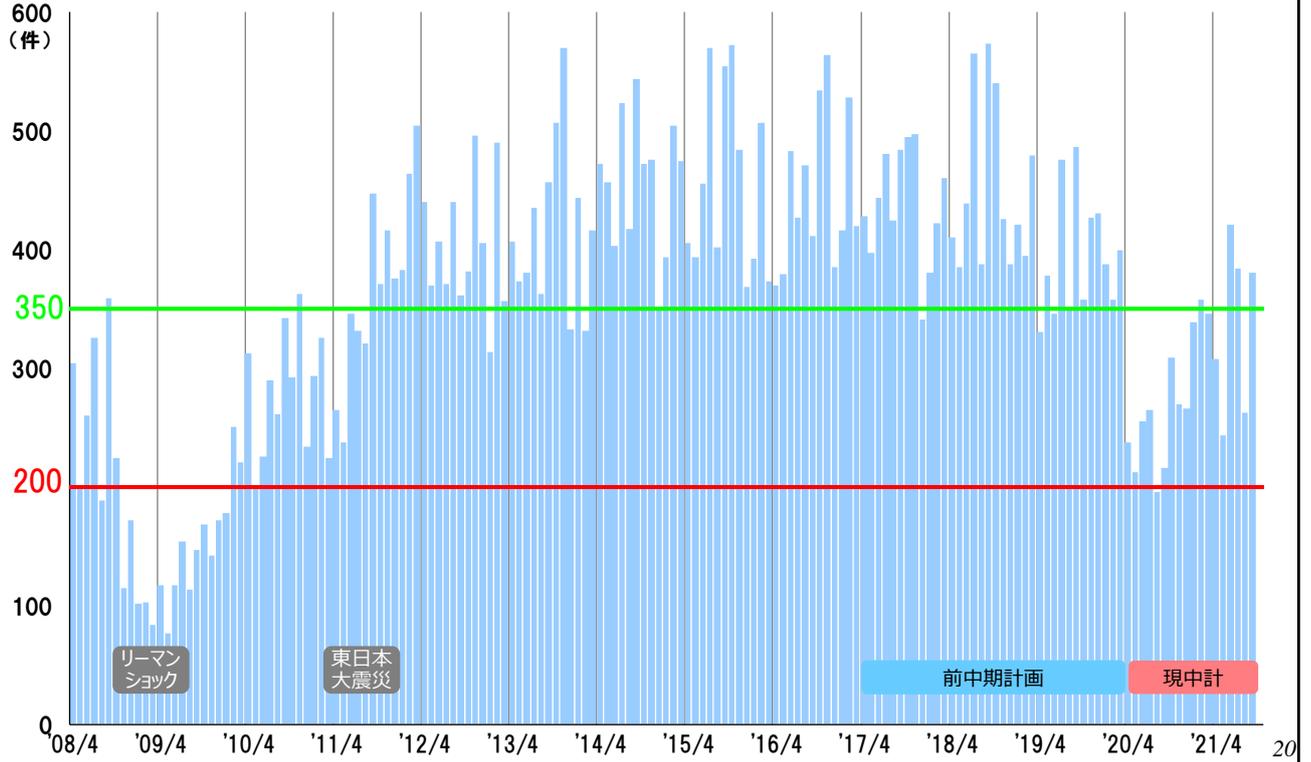
✓ 前年同期に大きく落ち込んだ時間外労働が回復して、稼働時間は増加



19

- 稼働時間の推移です。
- 前年同期は夜間外出自粛要請等に加えてお客様の残業時間削減もあり、大きく落ち込みましたが、時間外労働は回復し、稼働時間は増加傾向にあります。
- 稼働時間は、お客さま先の業務指示の結果なので、当社側でコントロールは不可能ではありますが、稼働時間0.1時間の変動で売上高は約1%変動することから、業績影響の大きい指標の一つとして、今後も継続して注視してまいります。

✓ メイテック単体の月間新規受注は回復傾向



- 上半期の月間新規受注動向の推移です。
- 前年の上期は、感染症拡大などにより景況が悪化したため、2Q平均の月間新規受注件数は約200件/の水準まで落ち込みましたが、今期は、お客様の次代を見据えた技術開発投資の持ち直しが進み、受注に回復の兆しが見られています。
- 現状平均約300件の新規受注の状況となっています。
- いまだ、先行き不透明な状況ですが、引き続き中計で取り組んでいる攻めの営業を行いながらも新規の受注獲得、配属促進を実施してまいりたいと考えております。

お客様の売上TOP10 メイテック

✓ お客様（個別企業）に関する事項および具体的計数の公表は差し控えます

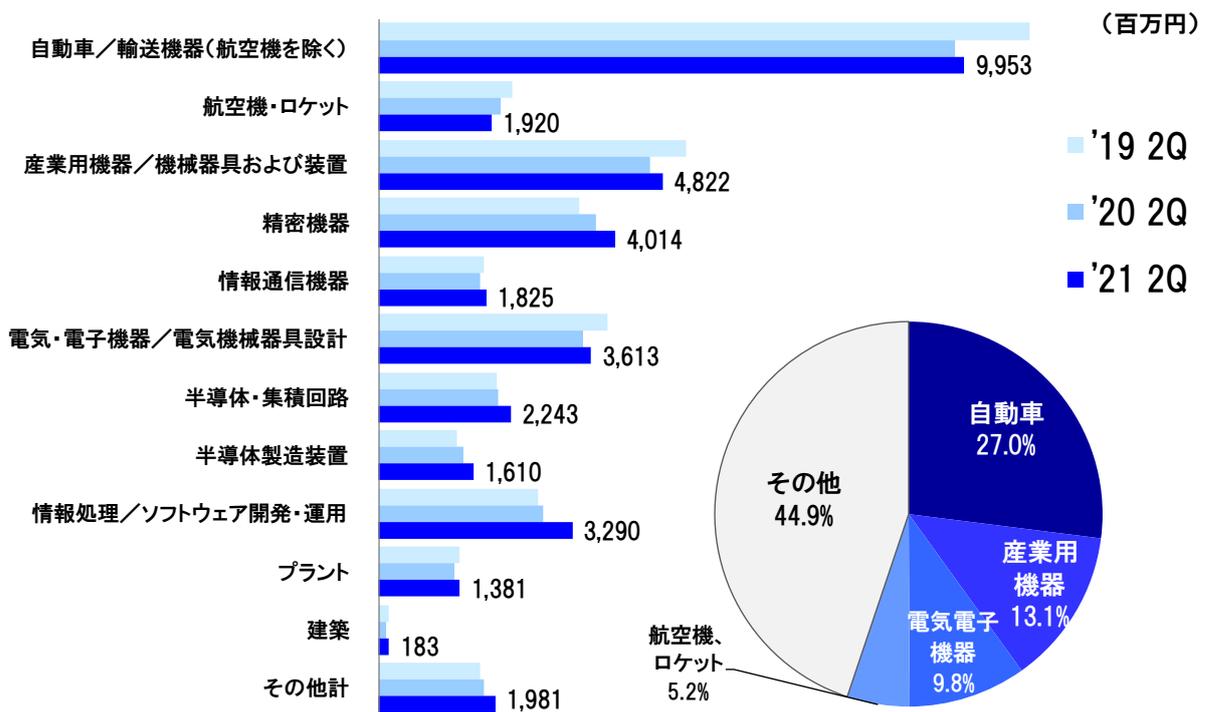
(百万円)

2017年3月期2Q (2016年度)			2021年3月期2Q (2020年度)			2022年3月期2Q (2021年度)		
1	三菱重工業 様		1	三菱重工業 様		1	デンソー 様	
2	デンソー 様		2	デンソー 様		2	三菱重工業 様	
3	キヤノン 様		3	ソニーセミコンダクタソリューションズ 様		3	ソニーセミコンダクタソリューションズ 様	
4	パナソニック 様		4	パナソニック 様		4	パナソニック 様	
5	ニコン 様		5	ニコン 様		5	ニコン 様	
6	ソニーセミコンダクタソリューションズ 様		6	トヨタ自動車 様		6	日立ハイテク 様	
7	トヨタ自動車 様		7	デンソーテン 様		7	トヨタ自動車 様	
8	川崎重工業 様		8	SUBARU 様		8	SUBARU 様	
9	三菱航空機 様		9	日立ハイテク 様		9	デンソーテン 様	
10	オムロン 様		10	日本製鉄 様		10	テルモ 様	
トップ10社合計	8,428	24.7%	トップ10社合計	8,321	23.9%	トップ10社合計	9,009	24.5%
トップ20社合計	11,885	34.9%	トップ20社合計	11,939	34.3%	トップ20社合計	13,000	35.3%
その他	22,188	65.1%	その他	22,907	65.7%	その他	23,842	64.7%
合計	34,073	100.0%	合計	34,846	100.0%	合計	36,841	100.0%

21

- メイテックのお客様の売上TOP10です。
- 順位に大きな変動はありません。
TOP10圏内に入るお客様の顔ぶれにも大きな変化はありませんが、業務内容は5年前、昨年と比べて大きく変化しています。
- 技術革新、開発テーマに即したお客様のニーズにお応えできる業務への契約変更を行っていますので、業務内容を常に変えつつ、エンジニアにとって常に新しい技術領域へ意図的なローテーションを図ることで、今まで以上にお客様に対して高付加価値なサービスを提供できるように取り組んでおります。
- 特定のお客様、特定の業界に偏(かたよ)ることなく、幅広くサービスを展開することは、メイテックの強みですので、これからもその強みを活かして取り組んでまいります。

✓ お客さま（個別企業）別の内訳や見通しの公表は差し控えます（計数はご参考資料に掲載）



22

- 業種別の売上高です。
- 引き続き「自動車関連」が高い比率を占めています。
- しかしながら、同時にデジタルトランスフォーメーションといった大きな技術課題に対する流れの中で、産業用機器、精密機器、電気電子、情報処理、すべての分野において、当社として今後の成長分野に対してローテーションを図りながらお客様の期待に応えています。
- 以上、2022年3月期第2四半期業績について、ご説明致しました。

2. 2022年3月期 業績予想

人と技術で次代を拓く

MEITEC
Engineering Firm at The Core

- 続いて、公表を見送っておりました2022年3月期の業績予想について、現時点において入手可能な情報に基づきまして算定しましたので、その概要を説明します。

2022年3月期業績予想 グループ連結 前期比

- ✓ 売上高は前期比10.7%増収⇒エンジニア社員増員と稼働率の改善に伴う稼働人員数の増加を見込む
- ✓ 営業利益は同比20.2%増益⇒売上高増収により採用関連費用等の販管費増加の吸収を見込む

(百万円未満切捨て)	'22年3月期 公表予想	前期比 増減額	前期比 増減率	2四半期累計 実績	下半期予想 3Q+4Q	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	107,000	+10,373	+10.7%	50,915	56,085	+6,550	+13.2%
売上原価	78,600	+6,396	+8.9%	38,074	40,526	+3,630	+9.8%
販売管理費	16,100	+1,911	+13.5%	7,503	8,597	+1,313	+18.0%
営業利益	12,300	+2,065	+20.2%	5,336	6,964	+1,607	+30.0%
営業利益率	11.5%	+0.9%		10.5%	12.0%	+1.2%	
経常利益	12,500	+2,193	+21.3%	5,405	7,095	+1,696	+31.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	8,400	+1,371	+19.5%	3,549	4,851	+960	+24.7%
1株当たり当期純利益(EPS)	308.72	+52.94		130.44			

24

- 2022年3月期のグループ連結の業績予想と前期実績との比較です。
- 売上高は、エンジニア社員増員と、稼働率の改善に伴う稼働人員数の増加を見込み、前期比+10.7%増収の1,070億円とします。営業利益は、採用関連費用などの販管費の増加を、売上高の増収で吸収することを見込み、前期比+20.2%増益の123億円予想としました。
- 当期純利益は、前期比+19.5%増益の84億円としました。

2022年3月期業績予想 メイテック 前期比

- ✓ 売上高は前期比7.8%増収、営業利益は同比18.6%増益
⇒エンジニア社員増員と稼働率の改善に伴う稼働人員数の増加を見込む

(百万円未満切捨て)	'22年3月期 公表予想	前期比 増減額	前期比 増減率	2四半期累計 実績	下半期予想 3Q+4Q	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	77,000	+5,547	+7.8%	36,841	40,159	+3,552	+9.7%
売上原価	56,300	+2,858	+5.3%	27,476	28,824	+1,595	+5.9%
原価率	73.1%	▲1.7%		74.6%	71.8%	+72.2%	
販売管理費	10,500	+1,085	+11.5%	4,917	5,583	+845	+17.8%
営業利益	10,200	+1,602	+18.6%	4,447	5,752	+1,111	+23.9%
営業利益率	13.2%	+1.2%		12.1%	14.3%	+1.6%	
経常利益	10,800	+1,255	+13.1%	5,027	5,773	+1,127	+24.3%
当期純利益	7,500	+679	+10.0%	3,470	4,030	+639	+18.8%
稼働率(全体)	93.8%	+3.4%		91.0%	96.6%	+5.3%	
稼働時間(h/day)	8.40	+0.09		8.36	8.44	—	
採用数(名)	702	+140		2022年4月入社の 新卒採用見込み数		21年4月 実績比	
新卒採用数	462	+63					
中途採用数	社内目標 240	+77					
退職率	5.4%	▲0.2%		499		+37	

25

- メイテック単体の業績予想と前期実績との比較です。
- エンジニア社員増員と、稼働率の改善に伴う稼働人員数の増加を見込み、売上高は、前期比+7.8%増収の770億円、営業利益は、前期比+18.6%増益の102億円、当期純利益は、前期比+10%増益の75億円としました。

2022年3月期業績予想 メイテックフィルダース 前期比

- ✓ 売上高は前期比20.1%増収、営業利益は同比31.3%増益
⇒積極採用によるエンジニア社員増員と配属ペースの加速による稼働率の改善を見込む

(百万円未満切捨て)	'22年3月期 公表予想	前期比 増減額	前期比 増減率	2四半期累計 実績	下半期予想 3Q+4Q	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	25,600	+4,291	+20.1%	11,987	13,613	+2,577	+23.4%
売上原価	19,750	+3,209	+19.4%	9,425	10,325	+1,791	+21.0%
原価率	77.1%	▲0.5%		78.6%	75.8%	▲1.5%	
販売管理費	4,300	+713	+19.9%	1,924	2,376	+390	+19.7%
営業利益	1,550	+369	+31.3%	638	912	+395	+76.5%
営業利益率	6.1%	+0.6%		5.3%	6.7%	+2.0%	
経常利益	1,550	+370	+31.4%	639	911	+394	+76.4%
当期純利益	1,060	+252	+31.2%	438	622	+268	+76.2%
稼働率(全体)	88.7%	+3.7%		83.9%	93.3%	+9.0%	
稼働時間(h/day)	8.38	+0.09		8.34	8.41	—	
採用数(名)	1,102	+263					
新卒採用数	302	+85					
中途採用数	社内目標 800	+178					
退職率	12.5%	+3.2%					
				2022年4月入社の 新卒採用見込み数		21年4月 実績比	
				424		+122	

26

- メイテックフィルダースの業績予想と前期実績との比較です。
- 積極採用によるエンジニア社員増員と、
下期配属ペースの加速による稼働率の改善を見込み、
売上高は、前期比+20.1%増収の256億円、
営業利益は、前期比+31.3%増益の15億5千万円、
- 当期純利益は、前期比で+31.2%増益の10億6千万円としました。

利益配分に関する基本方針

✓ 新中期計画の利益配分は、資本と資金の質と量の充実度を踏まえ、既定方針に従う

2018年11月改定
2017年5月改定
2011年5月改定
利益配分方針

1. 自己資本の“質と量”が充実していること
2. 資金残高が事業運営上の必要資金*を上回っていること
(*連結売上高の月商3ヶ月分)

総還元性向：100%以内を原則

配当

業績連動型配当：連結当期純利益の50%以上

最低限の配当：連結株主資本配当率(DOE)5%

**自己株式の
取得・
保有・消却**

取得：総還元性向と配当性向の水準を勘案して適宜実施

保有：発行済総数の5%を上限

消却：上限超を当期末までに消却

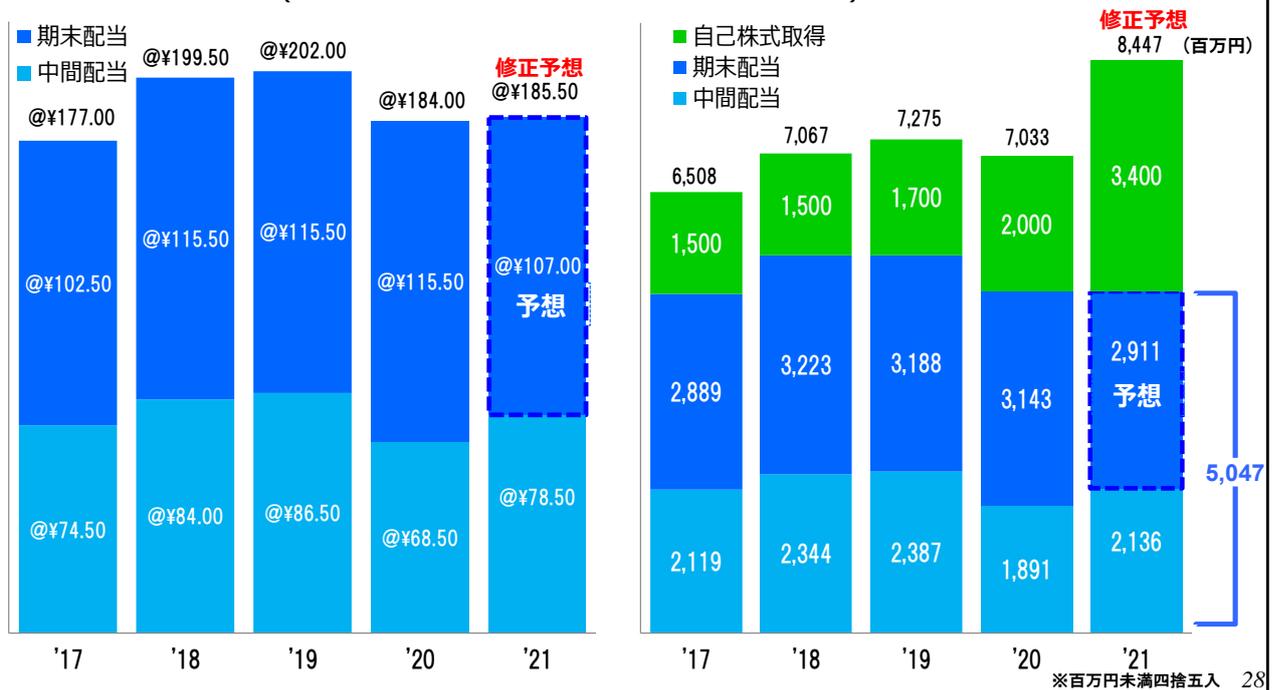
✓ 自己株式は、経営計画の目標達成等に向けて、今後の成長戦略の実行と成長に伴うリスクに対処していく機動的な財務政策を可能とするために保有

27

- 利益配分についてご説明いたします。
- 「利益配分に関する基本方針」に変更はありません。

利益配分の実績と予想

- ✓ 通期業績予想の公表に伴い、総還元性向100%（配当性向60%、自己株式取得40%）に即して利益配分を決定
- ✓ 総還元性向100% = (普通配当50億円+自己株式取得額34億円) ÷ 当期純利益予想84億円



- 最後に、利益配分の実績と予想です。
- 中間配当は、四半期純利益が期初公表予想を上回ったため、期初に公表した配当性向60%に即して中間配当を見直し、期初予想比+1円、前期実績+10円増配の、1株あたり78円50銭としました。
- 年間の総還元性向は、100%とし、通期業績予想における当期純利益84億円に連動させて、期末配当は、1株当たり107円といたします。
- これにより、年間配当は、総額約50億円で一株当たり185円50銭の予想となります。
- また、自己株式取得は34億円といたしました。本日リリースで公表させていただいておりますが、取得につきましては明日から実施したいと考えております。
- 私からの説明は以上です。今後も皆様のご期待に応えられるよう、努力して参ります。引き続き、ご理解、ご支援の程、宜しくお願い致します。ご清聴、ありがとうございました

3. ご参考資料

人と技術で次代を拓く

MEITEC

Engineering Firm at The Core

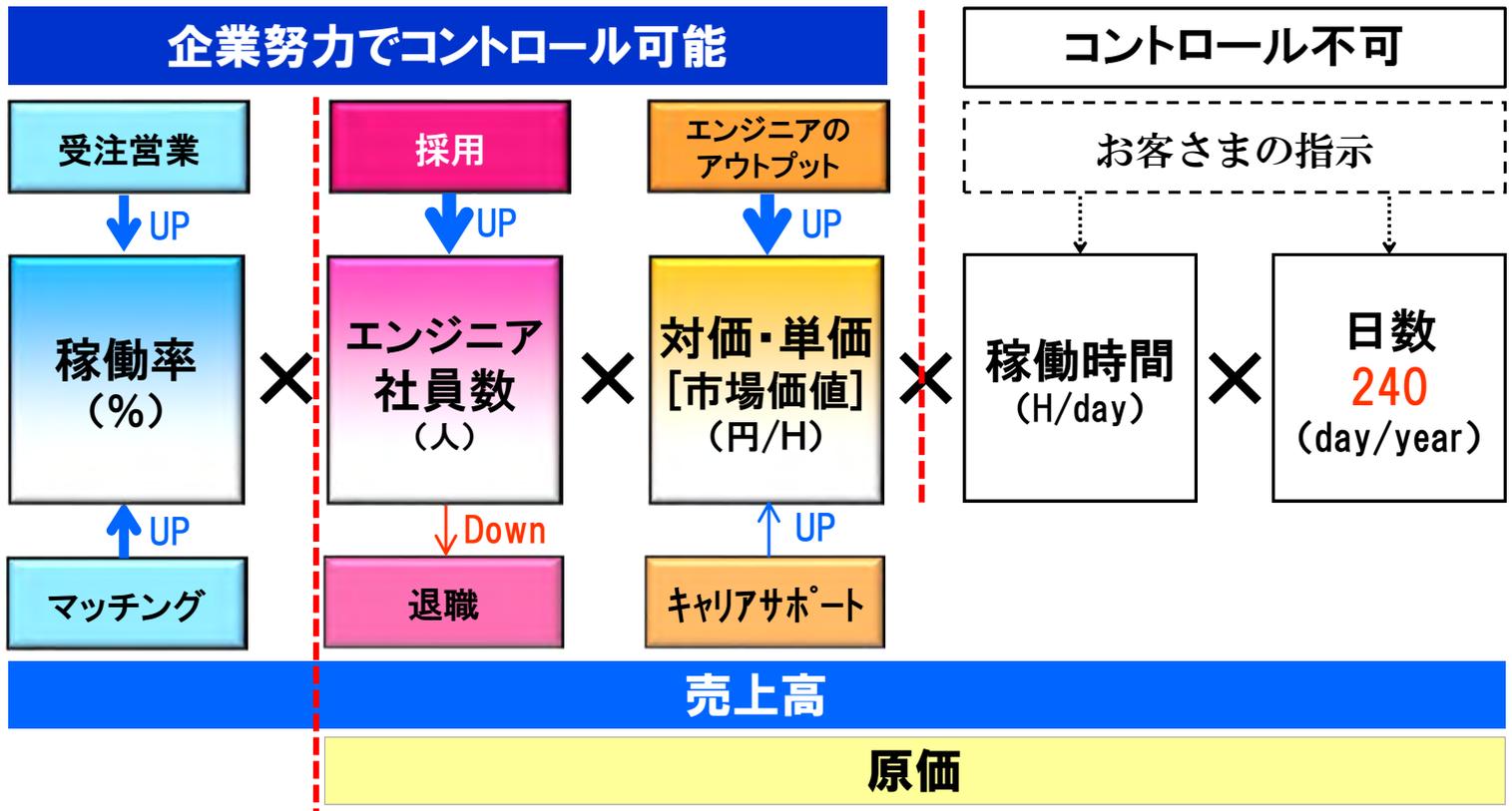
A portrait of Shosei Kunikida, the Chairman and CEO of Meitec Group, sitting in a light-colored leather chair. He is wearing a dark pinstriped suit, a white shirt, and a dark patterned tie. His hands are clasped in his lap. The background shows a window with blinds and a green plant.

一社でも多くのお客さまに、
一人でも多くのエンジニアに、
メイテックグループを活用いただき、
感動や喜びを実感できる
「機会と場」の拡大を目指します。

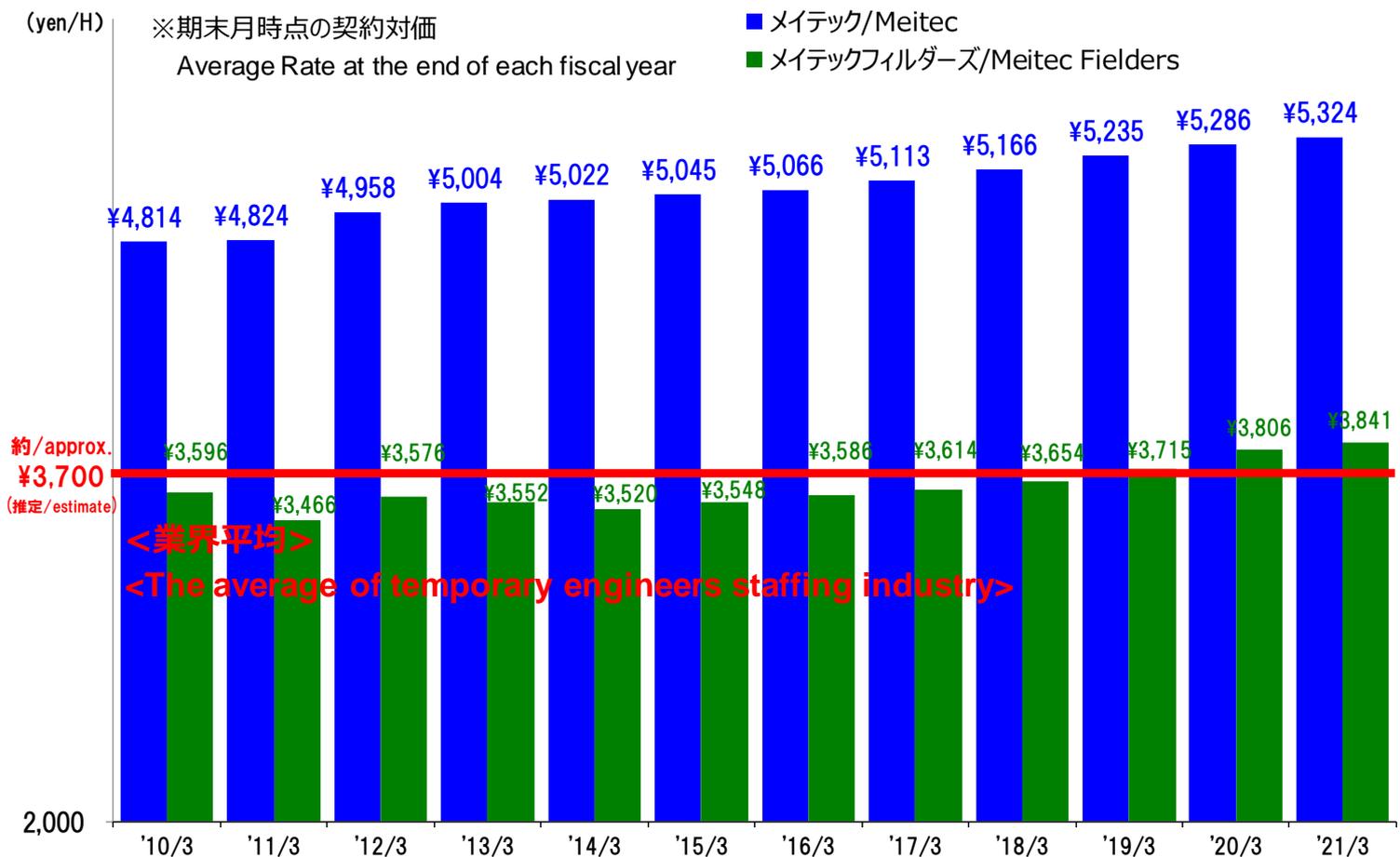
代表取締役社長
メイテックグループCEO

國分 秀世

✓ 「稼働率と対価」を維持・向上しながら、エンジニア社員数の増員が成長の鍵



対価・単価・(レート) = [市場価値]



2022年3月期 第2四半期業績 各社別の概況

(百万円未満切捨て)	エンジニアリングソリューション事業				エンジニア紹介事業
	メイテック	メイテック フィルダーズ	メイテック キャスト	メイテック EX	メイテック ネクスト
売上高	36,841	11,987	1,469	144	732
前期比 増減額	+1,995	+1,714	+41	+64	+67
前期比 増減率	+5.7%	+16.7%	+2.9%	+80.0%	+10.2%
営業利益	4,447	638	94	0	214
前期比 増減額	+490	▲26	▲11	+9	+39
前期比 増減率	+12.4%	▲3.9%	▲10.5%	—	+22.5%
経常利益	5,027	639	94	—	214
当期純利益	3,470	438	64	0	146

33

2022年3月期 各社別の業績予想

(百万円未満切捨て)	エンジニアリングソリューション事業				エンジニア紹介事業
	メイテック	メイテック フィルダーズ	メイテック キャスト	メイテック EX	メイテック ネクスト
売上高	77,000	25,600	3,080	320	1,590
前期比 増減額	+5,547	+4,291	+188	+137	+373
前期比 増減率	+7.8%	+20.1%	+6.5%	+75.4%	+30.7%
営業利益	10,200	1,550	210	0	480
前期比 増減額	+1,602	+371	—	—	+206
前期比 増減率	+18.6%	+31.5%	+0.3%	—	+75.2%
経常利益	10,800	1,550	210	0	480
当期純利益	7,500	1,060	130	0	310

34

業種別売上高推移【メイテック】

(百万円)

メイテック 百万円未満切捨て	2018年 3月期2Q	2019年 3月期2Q	2020年 3月期2Q	2021年 3月期2Q	2022年3月期2Q			
	売上高				売上高	売上 構成比	対前年 増減額	対前年 増減率
自動車、輸送機器関連(航空機を除く)	10,091	10,542	11,060	9,789	9,953	27.0%	+163	+1.7%
航空機・ロケット関連	2,545	2,278	2,276	2,084	1,920	5.2%	△ 164	△7.9%
産業用機器、機械器具および装置関連	5,070	5,094	5,232	4,614	4,822	13.1%	+207	+4.5%
精密機器関連	2,831	3,123	3,400	3,689	4,014	10.9%	+325	+8.8%
情報通信機器関連	2,024	1,936	1,794	1,722	1,825	5.0%	+103	+6.0%
電気・電子機器、電気機械器具設計	4,229	4,080	3,896	3,467	3,613	9.8%	+145	+4.2%
半導体・集積回路関連	2,012	2,095	2,002	2,026	2,243	6.1%	+216	+10.7%
半導体製造装置関連	1,143	1,315	1,325	1,431	1,610	4.4%	+179	+12.5%
情報処理、ソフトウェア開発・運用	2,603	2,587	2,719	2,789	3,290	8.9%	+500	+18.0%
プラント関連	1,284	1,259	1,374	1,299	1,381	3.8%	+82	+6.3%
建築関連	194	198	167	139	183	0.5%	+44	+32.4%
その他	1,513	1,603	1,725	1,791	1,981	5.4%	+189	+10.6%
合計	35,544	36,116	36,976	34,846	36,841	100.0%	+1,995	+5.7%

35

業種別売上高推移【メイテックフィルダース】

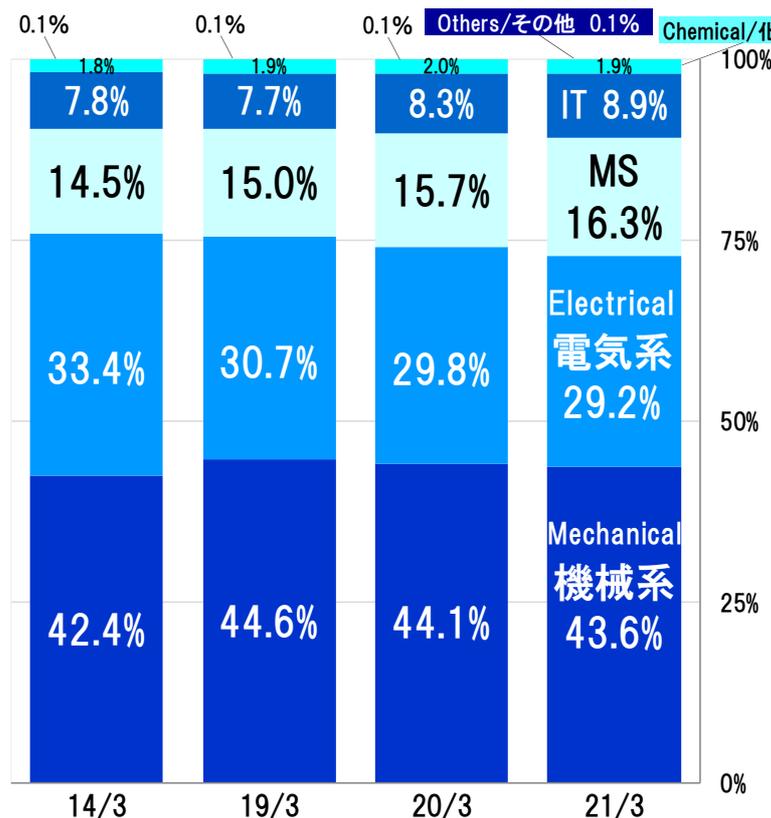
(百万円)

メイテックフィルダース 百万円未満切捨て	2018年 3月期2Q	2019年 3月期2Q	2020年 3月期2Q	2021年 3月期2Q	2022年3月期2Q			
	売上高				売上高	売上 構成比	対前年 増減額	対前年 増減率
自動車、輸送機器関連(航空機を除く)	2,861	3,101	3,418	3,015	3,277	27.3%	+261	+8.7%
航空機・ロケット関連	193	174	182	195	203	1.7%	+8	+4.3%
産業用機器、機械器具および装置関連	1,234	1,524	1,909	1,958	2,213	18.5%	+254	+13.0%
精密機器関連	1,014	1,141	1,327	1,363	1,604	13.4%	+240	+17.7%
情報通信機器関連	314	331	371	341	308	2.6%	△ 32	△9.5%
電気・電子機器、電気機械器具設計	978	1,069	1,085	1,053	1,208	10.1%	+154	+14.7%
半導体・集積回路関連	293	347	345	359	413	3.5%	+54	+15.0%
半導体製造装置関連	399	654	688	568	644	5.4%	+76	+13.4%
情報処理、ソフトウェア開発・運用	219	246	337	480	820	6.8%	+340	+70.8%
プラント関連	298	289	312	419	519	4.3%	+99	+23.7%
建築関連	36	48	8	4	10	0.1%	+5	+129.4%
その他	317	383	453	512	764	6.4%	+252	+49.3%
合計	8,163	9,314	10,439	10,272	11,987	100.0%	+1,714	+16.7%

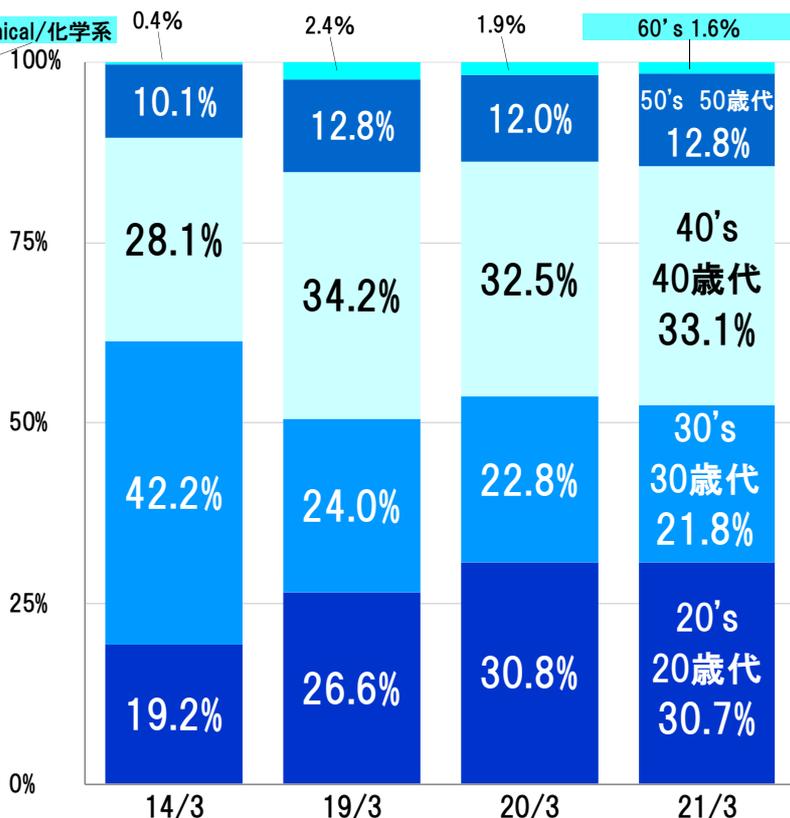
36

エンジニアの構成 メイテック

技術分野/Technical field



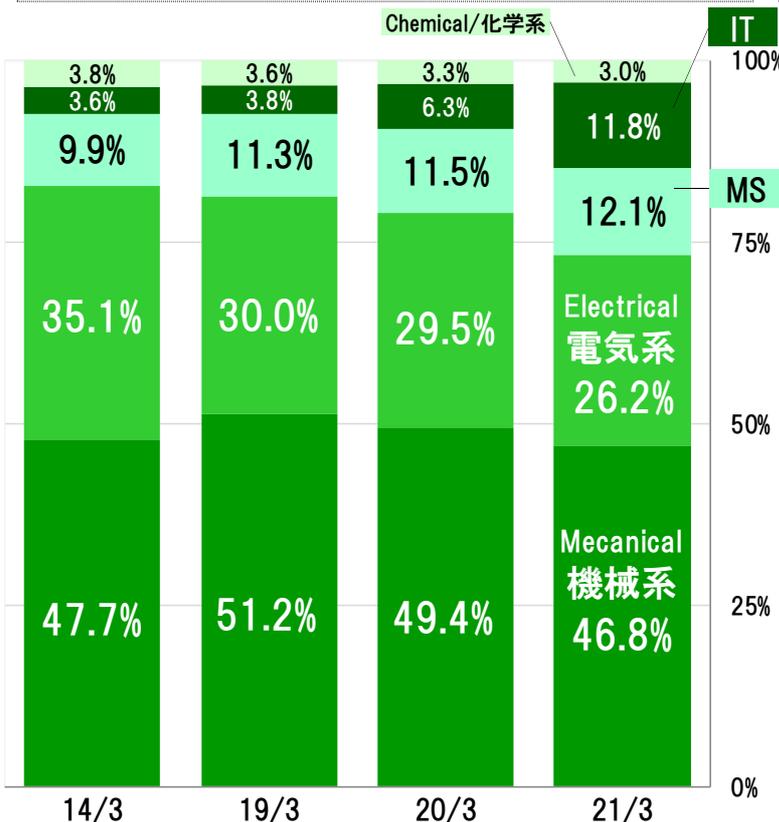
年齢/According to age



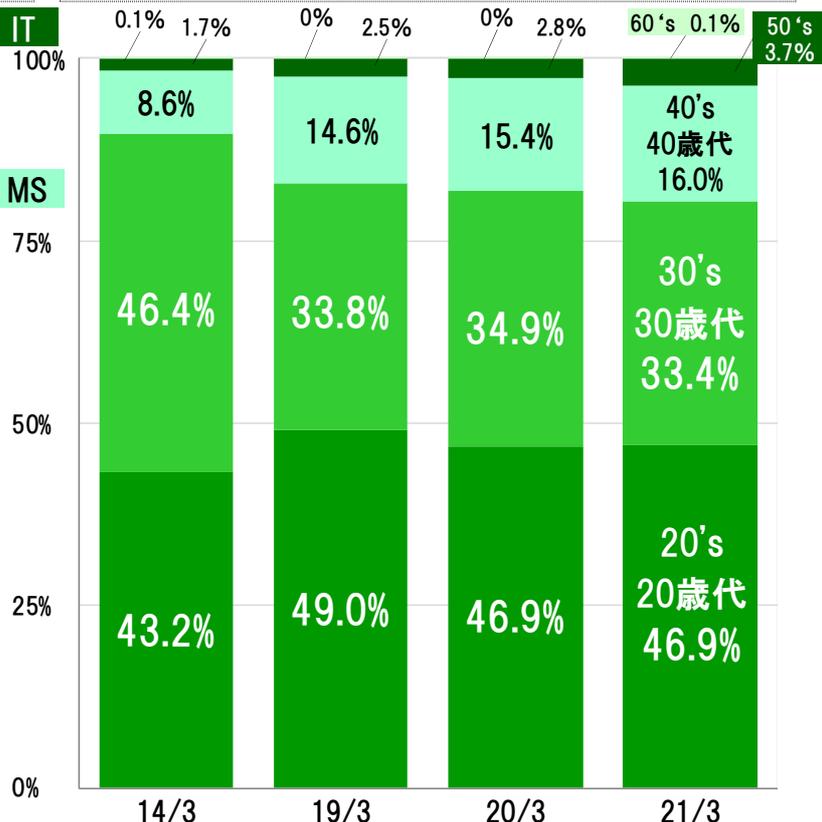
MS: Micro Computer System

エンジニアの構成 メイテックフィルダース

技術分野/Technical field



年齢/According to age



MS: Micro Computer System

【連結】業績推移

(百万円)	2010-2Q	2011-2Q	2012-2Q	2013-2Q	2014-2Q	2015-2Q	2016-2Q	2017-2Q	2018-2Q	2019-2Q	2020-2Q	2021-2Q
売上高	29,357	31,937	34,130	35,754	39,300	42,143	44,111	45,867	47,621	49,577	47,091	50,915
原価	23,628	24,052	25,119	26,607	29,366	31,321	32,861	34,049	35,288	36,461	35,307	38,074
原価率	80.5%	75.3%	73.6%	74.4%	74.7%	74.3%	74.5%	74.2%	74.1%	73.5%	75.0%	74.8%
売上総利益	5,728	7,885	9,010	9,146	9,934	10,821	11,249	11,817	12,332	13,116	11,783	12,840
販売費及び一般管理費	5,065	5,556	6,119	6,239	5,941	6,077	6,178	6,375	6,505	7,113	6,905	7,503
販管費率	17.3%	17.4%	17.9%	17.4%	15.1%	14.4%	14.0%	13.9%	13.7%	14.3%	14.7%	14.7%
営業利益	662	2,328	2,891	2,907	3,992	4,744	5,071	5,442	5,827	6,003	4,878	5,336
営業利益率	2.3%	7.3%	8.5%	8.1%	10.2%	11.3%	11.5%	11.9%	12.2%	12.1%	10.4%	10.5%
営業外収益	1,468	46	74	33	24	14	11	9	7	22	31	70
営業外費用	43	24	20	9	3	35	7	5	5	4	1	1
経常利益	2,087	2,350	2,945	2,931	4,012	4,723	5,074	5,447	5,830	6,020	4,907	5,405
経常利益率	7.1%	7.4%	8.6%	8.2%	10.2%	11.2%	11.5%	11.9%	12.2%	12.1%	10.4%	10.6%
特別利益	297	—	47	—	7	1,084	2	—	11	—	—	—
特別損失	83	2	206	18	3,464	30	3	60	1	2	4	4
税金等調整前四半期純利益	2,302	2,347	2,786	2,913	555	5,777	5,073	5,386	5,840	6,018	4,903	5,401
税金費用など	686	1,051	1,094	1,207	361	1,979	1,607	1,860	1,954	2,047	1,764	1,852
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,615	1,295	1,692	1,706	194	3,798	3,466	3,526	3,885	3,970	3,138	3,549
純利益率	5.5%	4.1%	5.0%	4.8%	0.5%	9.0%	7.9%	7.7%	8.2%	8.0%	6.7%	7.0%

39

<メイテック>業績推移

(百万円)	2010-2Q	2011-2Q	2012-2Q	2013-2Q	2014-2Q	2015-2Q	2016-2Q	2017-2Q	2018-2Q	2019-2Q	2020-2Q	2021-2Q
売上高	22,698	25,256	27,125	28,150	30,682	33,131	34,073	35,544	36,116	36,976	34,846	36,841
原価	18,629	19,180	20,081	21,094	23,091	24,758	25,545	26,601	26,969	27,307	26,213	27,476
原価率	82.1%	75.9%	74.0%	74.9%	75.3%	74.7%	75.0%	74.8%	74.7%	73.8%	75.2%	74.6%
売上総利益	4,069	6,075	7,043	7,056	7,590	8,372	8,527	8,942	9,146	9,669	8,633	9,365
販売費及び一般管理費	3,829	4,131	4,583	4,664	4,325	4,444	4,426	4,512	4,502	4,907	4,676	4,917
販管費率	16.9%	16.4%	16.9%	16.6%	14.1%	13.4%	13.0%	12.7%	12.5%	13.3%	13.4%	13.3%
営業利益	239	1,944	2,460	2,392	3,265	3,927	4,100	4,430	4,644	4,762	3,956	4,447
営業利益率	1.1%	7.7%	9.1%	8.5%	10.6%	11.9%	12.0%	12.5%	12.9%	12.9%	11.4%	12.1%
営業外収益	1,350	337	291	403	435	497	585	751	749	902	943	581
営業外費用	16	19	11	4	3	30	6	2	4	3	1	1
経常利益	1,573	2,262	2,739	2,791	3,697	4,395	4,679	5,179	5,388	5,661	4,899	5,027
経常利益率	6.9%	9.0%	10.1%	9.9%	12.0%	13.3%	13.7%	14.6%	14.9%	15.3%	14.1%	13.6%
特別利益	1	—	—	—	8	1,084	15	30	11	—	—	—
特別損失	73	2	210	43	3,463	43	3	60	1	2	4	4
税引前四半期純利益	1,501	2,260	2,528	2,748	242	5,437	4,691	5,149	5,398	5,658	4,894	5,023
税金費用など	600	904	935	1,003	69	1,687	1,411	1,541	1,589	1,661	1,464	1,553
四半期純利益	900	1,356	1,593	1,745	172	3,749	3,279	3,608	3,808	3,997	3,429	3,470
純利益率	4.0%	5.4%	5.9%	6.2%	0.6%	11.3%	9.6%	10.2%	10.5%	10.8%	9.8%	9.4%

40

<メイテックフィルダース>業績推移

(百万円)	2010-2Q	2011-2Q	2012-2Q	2013-2Q	2014-2Q	2015-2Q	2016-2Q	2017-2Q	2018-2Q	2019-2Q	2020-2Q	2021-2Q
売上高	3,942	4,113	4,513	5,037	5,753	6,386	7,218	8,163	9,314	10,439	10,272	11,987
原価	3,138	3,134	3,436	3,879	4,453	4,965	5,637	6,357	7,245	8,095	8,007	9,425
原価率	79.6%	76.2%	76.1%	77.0%	77.4%	77.7%	78.1%	77.9%	77.8%	77.5%	77.9%	78.6%
売上総利益	804	978	1,076	1,157	1,300	1,421	1,580	1,806	2,069	2,344	2,265	2,562
販売費及び一般管理費	549	738	807	806	813	873	939	1,129	1,256	1,413	1,601	1,924
販管费率	13.9%	17.9%	17.9%	16.0%	14.1%	13.7%	13.0%	13.8%	13.5%	13.5%	15.6%	16.1%
営業利益	254	240	269	351	486	547	641	677	812	930	664	638
営業利益率	6.4%	5.8%	6.0%	7.0%	8.5%	8.6%	8.9%	8.3%	8.7%	8.9%	6.5%	5.3%
営業外収益	136	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	1
営業外費用	—	—	—	—	—	—	1	2	—	—	1	0
経常利益	389	242	270	352	486	548	639	674	812	930	663	639
経常利益率	9.9%	5.9%	6.0%	7.0%	8.5%	8.6%	8.9%	8.3%	8.7%	8.9%	6.5%	5.3%
特別利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特別損失	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
税引前四半期純利益	389	242	270	352	486	548	639	674	812	930	663	639
税金費用など	15	96	102	133	189	198	116	211	250	286	208	201
四半期純利益	373	145	167	218	297	349	523	462	561	644	454	438
純利益率	9.5%	3.5%	3.7%	4.3%	5.2%	5.5%	7.3%	5.7%	6.0%	6.2%	4.4%	3.7%

41

<メイテックネクスト>業績推移

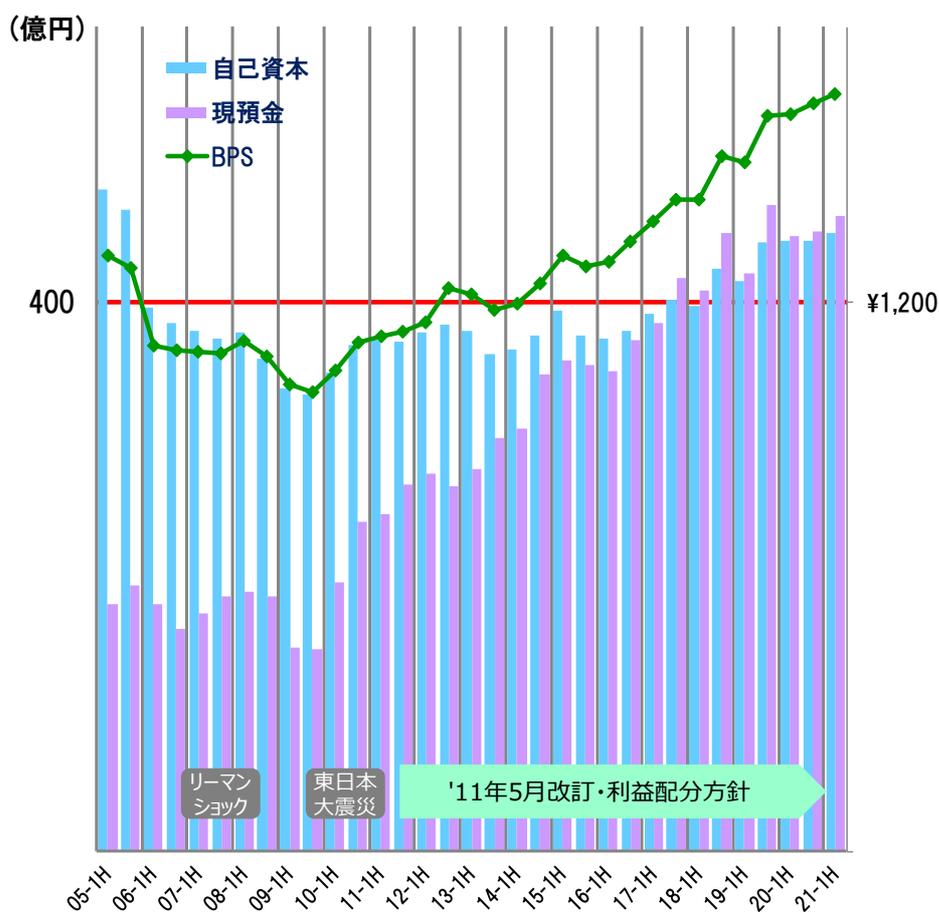
(百万円)	2010-2Q	2011-2Q	2012-2Q	2013-2Q	2014-2Q	2015-2Q	2016-2Q	2017-2Q	2018-2Q	2019-2Q	2020-2Q	2021-2Q
売上高	215	283	368	447	536	639	758	818	894	867	665	732
原価												
原価率												
売上総利益	215	283	368	447	536	639	758	818	894	867	665	732
販売費及び一般管理費	162	203	246	278	355	435	475	539	602	629	490	518
販管费率	75.1%	71.7%	67.0%	62.2%	66.3%	68.0%	62.6%	65.9%	67.4%	72.6%	73.7%	70.8%
営業利益	53	80	121	169	180	204	283	279	291	237	174	214
営業利益率	24.9%	28.3%	33.0%	37.8%	33.7%	32.0%	37.4%	34.1%	32.6%	27.4%	26.3%	29.2%
営業外収益	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
営業外費用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	0
経常利益	55	80	121	169	180	204	283	279	291	235	174	214
経常利益率	25.5%	28.4%	33.0%	37.9%	33.7%	32.0%	37.4%	34.1%	32.6%	27.2%	26.3%	29.2%
特別利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特別損失	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
税引前四半期純利益	54	80	121	169	180	204	283	278	291	235	174	214
税金費用など	—	—	9	55	64	67	90	87	89	72	54	67
四半期純利益	54	80	112	114	116	136	193	191	202	163	119	146
純利益率	25.1%	28.4%	30.5%	25.5%	21.6%	21.4%	25.5%	23.4%	22.6%	18.8%	18.0%	20.1%

42

【連結】バランスシート推移

(百万円)	2010/9/30	2011/9/30	2012/9/30	2013/9/30	2014/9/30	2015/9/30	2016/9/30	2017/9/30	2018/9/30	2019/9/30	2020/9/30	2021/9/30
現金・預金	19,548	24,504	27,506	27,866	30,719	35,716	34,954	38,425	40,838	42,131	44,838	46,250
受取手形・売掛金	9,389	9,391	10,036	10,070	11,680	12,048	12,695	13,354	13,100	13,709	13,043	14,518
流動資産合計	32,210	37,128	40,935	42,090	46,427	52,071	52,568	55,645	55,348	57,148	59,437	62,260
有形固定資産合計	11,986	11,465	10,920	10,785	7,333	5,980	5,632	5,498	5,296	5,364	5,199	5,046
固定資産合計	18,600	17,494	16,215	15,799	12,393	12,271	11,183	11,743	14,168	14,408	14,525	13,897
資産合計	50,811	54,623	57,150	57,890	58,821	64,343	63,752	67,389	69,516	71,556	73,962	76,158
流動負債合計	7,488	8,409	9,760	9,642	11,351	12,850	12,923	14,119	14,929	14,468	13,533	14,702
固定負債合計	8,271	8,890	9,496	10,256	10,857	12,046	13,555	14,133	14,826	15,540	16,021	16,447
負債合計	15,760	17,299	19,257	19,898	22,209	24,897	26,478	28,252	29,755	30,009	29,555	31,150
株主資本	35,716	38,146	38,744	38,816	38,401	41,387	39,570	41,118	41,575	43,219	45,900	46,303
その他	▲666	▲822	▲851	▲824	▲1,789	▲1,941	▲2,296	▲1,981	▲1,813	▲1,672	▲1,492	▲1,295
純資産合計	35,050	37,324	37,893	37,991	36,612	39,445	37,273	39,136	39,761	41,547	44,407	45,008

自己資本・現預金 グループ連結



- 無期雇用エンジニア派遣事業では、経済危機下でも、エンジニアの雇用を守り抜く事が持続的成長に不可欠
→エンジニアは、安定雇用を前提として、自身のキャリアを磨く事に専念し続ける
- そのためには、資金残高にも配慮しつつ、財務の安全性につながる「自己資本の“質と量”の充実」を優先する

利益配分実績と予想

(百万円未満・四捨五入)											実績	予想	
	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
総還元性向(連結)	24.7%	92.9%	99.0%	101.2%	116.8%	100.0%	100.1%	80.0%	80.0%	80.0%	100.1%	100.6%	
配当性向(連結)	24.7%	68.5%	53.2%	56.1%	92.4%	53.5%	55.2%	61.8%	63.3%	61.5%	71.9%	60.1%	
純資産配当率(連結)	2.6%	5.2%	8.4%	6.0%	9.2%	11.4%	11.6%	12.9%	13.6%	12.9%	11.4%		
年間配当	1株当たり	@¥27.50	@¥58.50	@¥99.00	@¥72.00	@¥111.00	@¥144.00	@¥151.50	@¥177.00	@¥199.50	@¥202.00	@¥184.00	@¥185.50
	金額(百万円)	911	1,925	3,134	2,220	3,373	4,286	4,344	5,008	5,567	5,575	5,033	5,047
中間配当	1株当たり		@¥29.00	@¥30.00	@¥31.50	@¥44.00	@¥63.00	@¥68.00	@¥74.50	@¥84.00	@¥86.50	@¥68.50	@¥78.50
	金額(百万円)		961	981	983	1,344	1,908	1,968	2,119	2,344	2,387	1,891	2,136
期末配当	1株当たり	@¥27.50	@¥29.50	@¥69.00	@¥40.50	@¥67.00	@¥81.00	@¥83.50	@¥102.50	@¥115.50	@¥115.50	@¥115.50	@¥107.00
	金額(百万円)	911	965	2,153	1,237	2,029	2,378	2,375	2,889	3,223	3,188	3,143	2,911
自己株式取得	株数(千株)		421	1,506	641	269	921	915	257	280	303	390	
	金額(百万円)		700	2,800	1,800	899	3,799	3,600	1,500	1,500	1,700	2,000	3,400
総利益配分額(百万円)	911	2,625	5,934	4,020	4,273	8,086	7,944	6,508	7,067	7,275	7,033	8,447	
株式消却	株数(千株)		400	1,700	500	300	900	1,300		700	300	400	
株価	期初4月1日	¥1,893	¥1,621	¥1,681	¥2,193	¥2,857	¥3,965	¥3,865	¥4,505	¥5,960	¥5,130	¥4,065	¥6,040
	期末3月31日	¥1,664	¥1,669	¥2,343	¥2,930	¥4,025	¥3,935	¥4,520	¥5,890	¥5,030	¥4,300	¥6,110	
1株当たり当期純利益	@¥111.33	@¥85.45	@¥186.08	@¥128.30	@¥120.12	@¥269.24	@¥274.32	@¥286.64	@¥315.43	@¥328.36	@¥255.78	@¥308.72	
1株当たり純資産	@¥1,112.69	@¥1,135.10	@¥1,229.62	@¥1,182.85	@¥1,238.78	@¥1,278.59	@¥1,330.57	@¥1,424.01	@¥1,518.42	@¥1,606.03	@¥1,634.43		

45

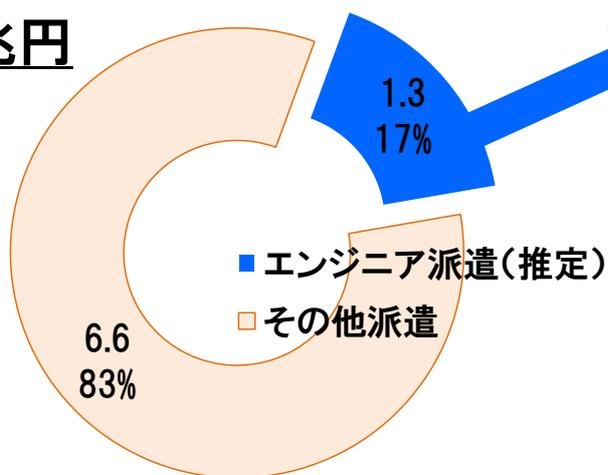
株主セグメント別保有状況

株主セグメント	2021年9月30日現在			
	株主数(名)	構成比	所有株式数(株)	構成比
銀行	9	0.2%	213,900	0.8%
信託銀行	14	0.3%	7,482,000	26.2%
生保・損保会社	23	0.5%	3,502,633	12.2%
証券金融・その他金融会社	6	0.1%	26,560	0.1%
証券会社	31	0.7%	275,458	1.0%
事業会社・その他法人	67	1.5%	167,051	0.6%
外国法人・外国人	233	5.3%	13,059,412	45.7%
個人その他	4,012	91.3%	3,872,986	13.5%
合計	4,395	100.0%	28,600,000	100.0%

46

2019年度の労働者派遣事業・売上高

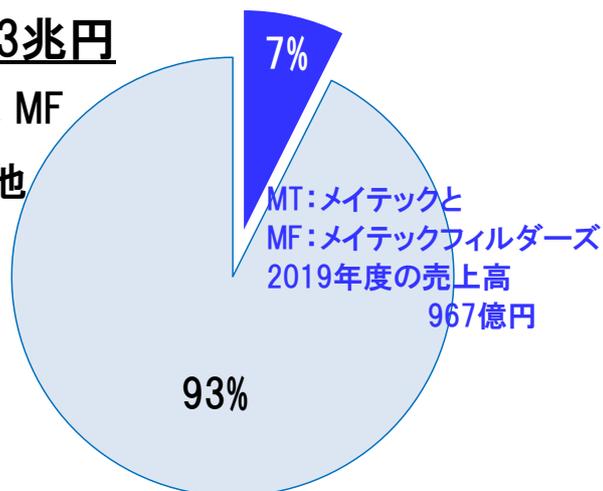
7.9兆円



エンジニア派遣市場(推定)

推定1.3兆円

- MT & MF
- その他



2021年3月		エンジニア派遣 (推定)
メイテック	メイテックフィルダーズ	
¥5,324	¥3,841	約¥3,700

出所:厚生労働省「労働者派遣事業報告書の集計結果」、推定値は当社試算。

注:当社は推定値に関して何ら一切の責任を負いません。

47

コーポレート・ガバナンス

I. 会社の機関

1. 組織形態 監査役設置会社

2. 会社独自の取り組み

① コーポレートガバナンス委員会 委員長: 社外取締役、委員: 取締役全員

- ・取締役会の実効性に関する分析・評価
- ・ガバナンス等の基本事項ほかの協議

② 役員人事諮問委員会 委員長: 社外取締役、委員: CEOと社外取締役

プロセスの適正性の評価

- ・代表取締役CEOの選解任
- ・社内業務執行取締役のパフォーマンス評価
- ・取締役・監査役候補者の指名
- ・社内業務執行取締役の報酬

CEO候補者選考協議会

II. 取締役・監査役(2021年9月30日現在)

	取締役	監査役	合計
人数	9	4	13
うち独立社外	4	4	8
比率	44%	100%	62% > 出席者の1/3以上

構成の方針

III. 役員報酬

固定報酬

	改正:2019年3月26日~	
代表取締役社長 グループCEO、CEO兼COO	年額 28,800千円	(月額 2,400千円)
取締役副社長	年額 24,000千円	(月額 2,000千円)
取締役	年額 19,200千円	(月額 1,600千円)
社外取締役	年額 9,000千円	(月額 750千円)
常勤監査役	年額 24,000千円	(月額 2,000千円)
非常勤監査役	年額 7,800千円	(月額 650千円)

取締役(のみ)に対する業績連動報酬など

	改正:2016年4月1日~	
連結当期純利益(業績連動 役員報酬を含まない)金額の	2.5%以内 上限:年額250百万円	
うち社外取締役	支給対象外	
うち税引後の20%相当額を	自社株式取得に充当 (役員持株会方式)	

48

Engineering Firm at The Core

私たちは「人と技術」でものづくりの核心を担う、
エンジニア集団です

エンジニアに豊かな「エンジニア人生」を提供し、
お客さまにとって欠かせない真の「ベストパートナー」を実現していく存在でありたい。

今まで「人と技術で次代を拓いてきた」私たちだからこそ、今、
そしてこれからもエンジニア採用市場・労働市場と設計・開発業務市場の
双方において、“核心”を担える集団であり続けます。



Engineering Firm

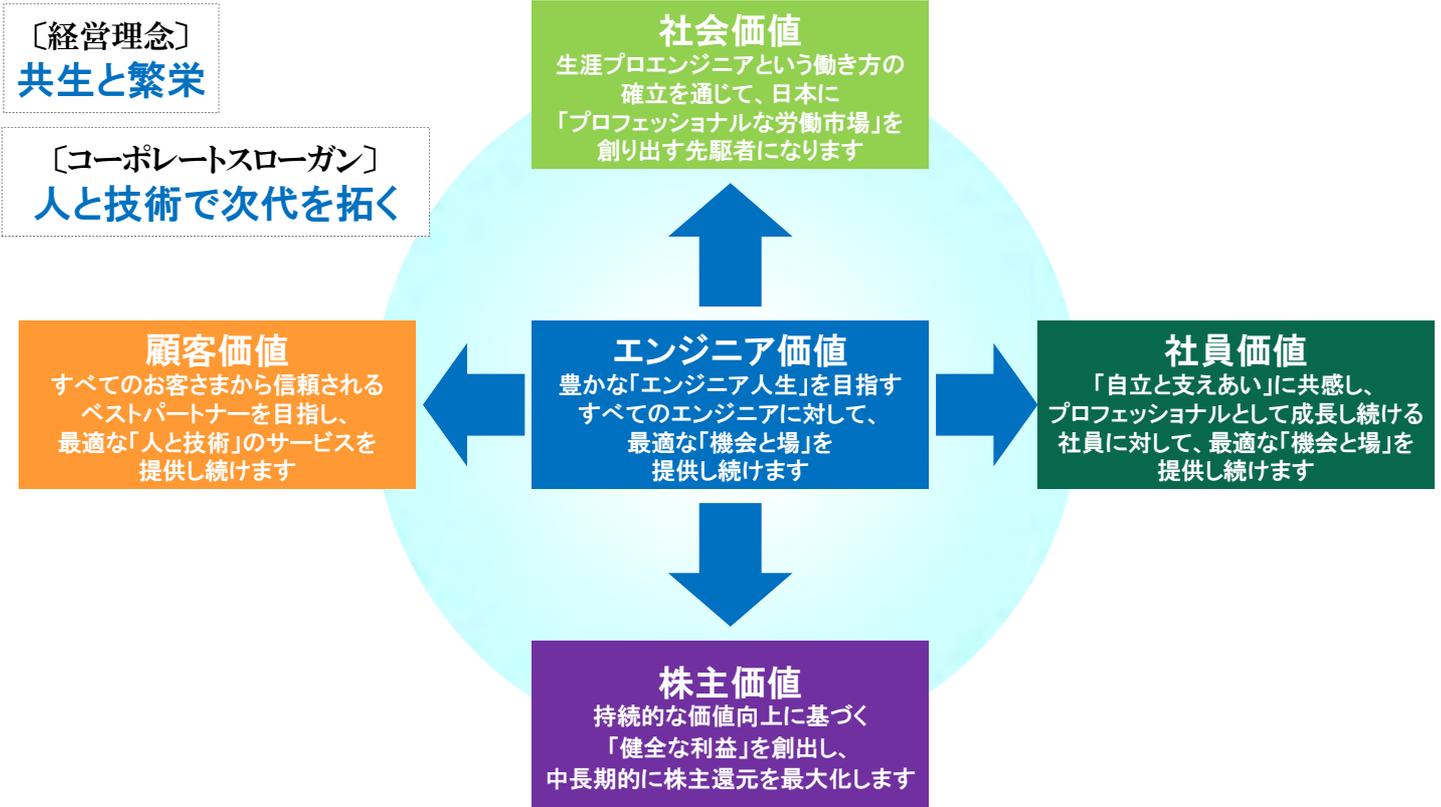
メイテックグループの社員一人ひとりが
「自立と支え合い」の精神でお互いを高め合い、
成長し続けるエンジニアのプロフェッショナル集団であること

The Core

製造業の技術革新において、「大事な、欠かせない」価値を
創り出す存在であること

世の中のエンジニアが職業を軸に働き続ける上で、
「大事な、欠かせない」働き方を提供できる存在であること

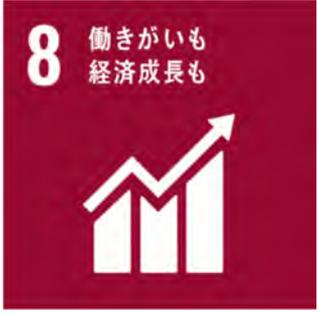
私たちメイテックグループは、全社員がつながりあい、
エンジニア価値を起点として、5つの価値を持続的に向上させます



社会課題の解決に向けて取り組む目標

Engineering Firm at The Core

私たちは「人と技術」でものづくりの核心を担う、
エンジニア集団です

E 環境	S 社会	G ガバナンス
<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>  <ul style="list-style-type: none"> 技術革新を推進し、環境・エネルギー等の課題解決に貢献 技術革新とイノベーションを推進し産業と経済成長に貢献 	<p>8 働きがいも経済成長も</p>  <ul style="list-style-type: none"> プロフェッショナルな労働市場の創出を通じて、持続可能な経済成長に貢献 	<p>4 質の高い教育をみんなに</p>  <p>高度な技術教育と生涯学習の促進</p> <p>5 ジェンダー平等を實現しよう</p>  <p>国籍・性別・年齢に関わらず、公平な「機会と場」の提供</p> <p>16 平和と公正をすべての人に</p>  <p>グループCG方針 社員行動規範の遵守徹底</p>

グループ一帯で高付加価値を追求して事業モデルを改革

基本方針	売上拡大			利益率向上
	収益増強			
重点施策	✓ 最上級Primeのエンジニアリングソリューションを提供 経営トップ直轄で最上級Primeの ・エンジニア集団を創る ・技術営業チームを築く	✓ 設計開発のデジタル化を大きく増やす ・量的拡大とデジタル化・成長領域への移動を加速 ・制度や基準を迅速果断に革新	✓ 地域(エリア・ブロック)へ権限を委譲	✓ オペレーションの標準化を進め、効率を向上 ・業務要件を再定義 ・デジタル化の促進

53

2022年度 収益目標

2022年度 収益目標	グループ連結	エンジニアリングソリューション事業		エンジニア紹介事業
		メイテック	メイテックフィルダーズ	
売上高	1,350億円	900億円	400億円	25億円
営業利益	180億円	135億円	36億円	8億円
営業利益率	13%	15%	9%	32%
当期純利益	120億円			
ROE	25%以上			

中期経営計画の記述に関する注意事項
 本資料中の定量目標などは、あくまで、経営チームの強い意志に基づく中長期的な戦略を示すものに過ぎず、業績予想ではありません。

54

本 社	東京都台東区
本 店	愛知県名古屋市西区
証券コード	9744(東証1部)
設 立	1974年(昭和49年)7月17日
取 引 先	株式1部・2部上場企業および優良中堅企業約1,200社
営業拠点	東京・名古屋・大阪など国内主要都市41拠点
グループ会社	<p>【エンジニアリングソリューション事業】</p> <ul style="list-style-type: none">■ 株式会社メイテックフィルダーズ■ 株式会社メイテックキャスト■ 株式会社メイテックEX■ 株式会社メイテックビジネスサービス <p>【エンジニア紹介事業】</p> <ul style="list-style-type: none">■ 株式会社メイテックネクスト

人と技術で次代を拓く

MEITEC

Engineering Firm at The Core